

## 日野原先生 (財)日本ユニセフ協会大使に就任!

ひの はら しげあき  
日野原 重明先生は、聖路加国際病院の名誉院長・理事長はじめ国内外の医学会で数多くの要職をつとめられ、講演、執筆、ミュージカル出演など多方面で大活躍をされておられます。来月には96歳を迎えられますがますます元気いっぱいです。さまざまな活動を通して命の大切さ、平和の尊さなどを特に次代を担う日本の子どもたちに訴え、その精神と活動は大きな支持を得ています。日野原先生のごこうした活動は、子どもの権利の実現をめざすユニセフの使命と相通じるものであるということから、4月9日、(財)日本ユニセフ協会大使にご就任いただきました。アグネス・チャンさんに続き2人目の大使です。

就任挨拶では、医師になって初めて看取った16歳の結核で亡くなった女の子のことや6年前に旗揚げした「新老人の会」の活動の究極の目的が、子どもたちの命と未来を守るために平和をつくってゆくことだとお話されました。そして、「今私は95歳6カ月になります。野球で言えば9回です。普通なら勝負はほぼ決まっているはず

ですが、私はこの9回から私の一番大切な人生が始まると思っています」と力強く抱負を語っておられました。



大使に任命された日野原重明先生 ©日本ユニセフ協会

## 2007年 J8サミット 開催

6月6日～8日、ドイツ・ハイリゲンダムで「G8サミット(主要国首脳会議)」が行われましたが、並行して6月3日～8日に、ヴィスマールで「J8サミット(ジュニア・エイト・サミット)」が開催されました。

「J8サミット」は、G8サミットの公式ユースプログラムで、今回は、G8各国と開発途上国から13～17歳の若者の代表74名が参加。日本からは東京・広尾学園高校の生徒8名が参加しました。

若者たちはG8サミットの4つの議題『アフリカにおける経済発展の展望』、『HIV/エイズ』、『気候変動とエネルギーの効率性』、『グローバル経済における新たな課題—知的財産所有権と企業の社会的責任』について活発な議論を行いました。

6月7日、G8国からの代表8名とG8以外の国々から



2007年J8サミットの参加者たち ©日本ユニセフ協会

の代表1名が、G8サミットに集まった首脳陣に対し、J8代表全員で作り上げた共同声明(ヴィスマール宣言)を発表。日本の代表となった中島ミシェル未

来さんは、「それぞれの国が知恵を出し合い協力すれば、世界は変わると思います」と訴えました。最終日は、共同声明の発表だけに終わらず、それぞれが今後も継続して活動していくことを約束しました。

さまざまな国際問題について、子どもたちが真剣に考え、議論を展開するJ8サミット。来年は日本が開催地です。(2008年J8サミット代表を選出するコンテストの参加方法などは、10月より当協会ホームページでご案内します)



G8サミット会場で記者会見に臨むJ8代表 ©日本ユニセフ協会